

経友会

ニュース

第35号

ご質問・お問合せ・メールのご登録は
大阪市立大学 経友会
 TEL 072-238-9502 (事務局長)
keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp
<http://keiyukai.info>

2018(平成30)年9月27日発行

第22回 経友会総会開催



塚本会長

平成30年6月9日(土)午前、杉本町キャンパス学術情報総合センター1階文化交流室で第22回経友会総会が開催されました。総会で塚本会長は、経済学部創立70周年記念事業に向けてお願いした募金に多数の方のご協力をいただいたことにお礼を申しあげた後、なお、引き続きより多くの方のご賛同とご支援を得たいと呼びかけられました。

また、会長自身が昨年7月に経済学部インターゼミ(経済学部のほぼすべてのゼミが研究内容を発表しあって、他のゼミ生と意見を交換・討議しあうゼミ交流会)に評価者の一員として参画して大いに勉強になったとの体験を披露され、今後とも経友会は経済学部や学生たちとの交流を強めていきたいと抱負を語られました。

平成29年度会計決算報告

1. 平成29年度 経友会会計決算書(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

■ 収入の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B - A)	前年度決算額
前期繰越金	2,694,798	2,694,798	0	3,196,694
会費収入	600,000	540,352	-59,648	493,796
商友会から負担金	10,000	10,000	0	0
寄付(70周年記念)	2,000,000	2,595,070	595,070	90,000
(一般寄付)	0	70,000	70,000	
受取利息等	1,000	174	-826	600
当年度分収入合計	2,611,000	3,215,596	604,596	584,396
収入の部合計	5,305,798	5,910,394	604,596	3,781,090

■ 支出の部

(円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (A - B)	前年度決算額
通信費	342,000	331,330	10,670	307,354
印刷費	285,000	223,370	61,630	272,700
消耗品費	15,000	11,223	3,777	13,057
広報企画費	15,000	0	15,000	0
人件費	270,000	240,000	30,000	270,000
会議費	6,000	6,376	-376	5,433
協賛・助成費	50,000	50,000	0	50,000
講師等謝礼金	20,000	20,000	0	10,000
商経講座負担金	210,000	164,000	46,000	149,000
記念事業引当金	500,000	2,595,070	-2,095,070	0
懇親会費	0	0	0	0
雑費	10,000	2,916	7,084	8,748
予備費	10,000	0	10,000	0
合計	1,733,000	3,644,285	-1,911,285	1,086,292
単年度収支差額	878,000	-428,689	1,306,687	-501,896
次期繰越金	3,572,798	2,266,111	1,306,687	2,694,798
支出の部合計	5,305,798	5,910,396	-604,598	3,781,090

◇次期繰越金の内訳

☆定期貯金(郵便局)1,000,000円 郵便貯金1,133,453円

☆活動資金残高 132,658円(郵便貯金129,112円、銀行預金422円、手持ち現金3,124円)

1-2. 平成29年度 経友会会計決算支出費目別明細書

(円)

	科目 (予算額)	支 出 額	内 訳
1	通 信 費 342,000	120 1,120 140 120,866 420 140 140 3,600 123,542 120 2,728 1,394 120 76,880 331,330	常任幹事に総会資料送付 総会欠席役員等に会議報告書送付 転居先判明者にニュース送付 経友会ニュース第33号配送代・送金手数料 新規入会者にニュース送付ほか 新規入会者にニュース送付 新規入会者にニュース送付 第41回常任幹事会案内 82円切手25枚 返信はがき25枚 経友会ニュース第34号配送代・送金手数料 転居先判明者にニュース送付 第42回常任幹事会案内 往復はがき22枚 第41回常任幹事会欠席役員等へ会議記録送付17通 転居先判明者にニュース送付 総会案内用往復はがき620枚
2	印 刷 費 285,000	84,240 9,180 120 230 109,080 20,520 223,370	経友会ニュース第33号印刷代 封筒印刷代 500枚 第41回常任幹事会案内文書コピー代 〃 常任幹事会議案書コピー代 経友会ニュース第34号印刷代 〃 送付用封筒印刷代 1,500枚
3	消 耗 品 費 15,000	669 2,976 2,097 4,190 1,291 11,223	事務用ゴム印作成代 経友会ニュース送付用宛名ラベル2,331円 コピー用紙 A3 1冊645円 第22回総会案内用宛名ラベル 3冊 〃 総会案内用 プリンターインク 1式 第42回常任幹事会・第22回総会議案書用コピー用紙 A3 2冊
4	広 報 企 画 費 15,000	0 0	経友会ホームページ サーバー使用料等 (担当委員寄付)
5	人 件 費 270,000	240,000 240,000	事務局長活動費 30,000×8ヶ月
6	会 議 費 6,000	950 366 4,000 549 511 6,376	第40回常任幹事会・第21回総会用 紙コップ2ケース 〃 常任幹事会 ボトル茶2本 〃 会議室使用料 第21回総会 ボトル茶3本 第41回常任幹事会 ボトル茶3本
7	協 賛 ・ 助 成 金 50,000	50,000 50,000	経済学部卒業記念パーティ祝い金
8	講 師 等 謝 礼 金 20,000	20,000 20,000	ホームカミングデー記念講演会 講師謝礼
9	負 担 金 210,000	164,000 164,000	平成29年度商経講座負担金
10	記 念 事 業 引 当 金 500,000	2,595,070 2,595,070	経済学部創立70周年記念事業費に充当する
11	雑 費 10,000	2,916 2,916	経済学部事務室へ年末挨拶 菓子折り1箱
12	予 備 費 10,000	0 0	
	合 計 (1,733,000)	3,644,285	

2. 平成29年度 商経講座会計収入支出決算書

■ 収入の部

(円)

費 目	収 入 額	内 訳
前年度から繰越 受け取り利子	256 1	
商友会負担金	210,000	
経友会負担金	210,000	
同窓会助成金	200,000	
合 計	620,257	

■ 支出の部

(円)

費 目	支 出 額	内 訳
通 信 費 5,000	1,200 1,200	DVD送付ほか郵便代
消 耗 品 費 17,000	3,032 2,460 4,415 9,907	ボトル茶1ケース、茶葉1袋 ボイスレコーダーメモリーカード1個、記録用DVD50枚 名刺作成代 2人@2138×2、写真プリント代ほか
交 通 費 165,000	117,238 65,120 182,358	講師5人の交通費 運営委員5人の交通費
講 師 等 謝 礼 費 280,000	180,000 180,000	講師9人の謝礼金@2万円×9 (5人が受け取り辞退)
講 師 等 食 事 費 140,000	117,414 117,414	講師、担当教員、運営委員の夕食懇親会 13回分
雑 費 13,256	0 0	
小 計	490,879	商友会、経友会、同窓会がそれぞれ3分の1を負担する。(*)
3 会 へ 返 戻	128,000	商友会・経友会にそれぞれ46,000円、同窓会に36,000円返戻
返戻金送金手数料	540	
合 計	619,419	
次年度繰越金	838	予算額620,257－支出総額619,419＝838円
(*) 商友会・経友会・同 窓会の経費負担分	490,879/3 =163,626	◇商友会・経友会への返戻額⇒210,000－163,626＝46,374 端数処理⇒46,000円 ◇同窓会への返戻額⇒200,000－163,626＝36,374 端数処理⇒36,000円

平成30年度会計予算

1. 平成30年度 経友会会計収支予算書

■ 収入の部

(円)

科 目	H30年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減額(A－B)	前年度決算額
前 期 繰 越 金	2,266,111	2,694,798	-428,687	2,694,798
会 費 収 入	600,000	600,000	0	540,352
商 友 会 負 担 金	0	10,000	-10,000	10,000
70周年記念事業募金	100,000	2,000,000	-1,900,000	2,595,070
一 般 寄 付	50,000	0	50,000	70,000
受 取 利 息 等	1,000	1,000	0	176
当 年 度 分 収 入 計	751,000	2,611,000	-1,860,000	3,215,598
収 入 の 部 合 計	3,017,111	5,305,798	-2,288,687	5,910,396

■ 支出の部

(円)

科 目	H30年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減額(A－B)	前年度決算額
通 信 費	342,000	342,000	0	331,330
印 刷 費	250,000	285,000	-35,000	223,370
消 耗 品 費	14,000	14,000	0	11,223
広 報 企 画 費	15,000	15,000	0	0
人 件 費	240,000	270,000	-30,000	240,000
会 議 費	6,000	7,000	-1,000	6,376
協 賛 ・ 助 成 費	50,000	50,000	0	50,000
講 師 等 謝 礼 金	0	20,000	-20,000	20,000
商 経 講 座 負 担 金	200,000	210,000	-10,000	164,000
記 念 事 業 引 当 金	100,000	500,000	-400,000	2,595,070
懇 親 会 費	0	0	0	0
雑 費	10,000	10,000	0	2,916
予 備 費	10,000	10,000	0	0
支 出 小 計	1,237,000	1,733,000	-496,000	3,644,285
単 年 度 収 支 差 額	-486,000	878,000	-1,364,000	-428,687
次 期 繰 越 金	1,780,111	3,572,798	-1,792,687	2,266,111
支 出 の 部 合 計	3,017,111	5,305,798	-2,288,687	5,910,396

2. 平成30年度 第5回商経講座会計収支予算書

■ 収入の部

(円)

費 目	収入額	内 訳
前年度から繰越 経友会負担金	838 200,000	事業費の1/3負担 〃 事業費の1/3助成（限度額200,000円）
商友会負担金	200,000	
同窓会助成金	200,000	
合 計	600,838	

■ 支出の部

(円)

費 目	支出額	内 訳
通 信 費 5,000	3,000	講師等に資料送付代 その他事務連絡通信費
	2,000	
	5,000	
消 耗 品 費 17,000	4,000	講座担当委員名刺作成代 @1,250×3 接待用茶葉、ボトル茶、紙コップ 動画記録用DVDディスク、ボイスレコーダーメモリーほか
	3,000	
	10,000	
	17,000	
交 通 費 150,000	60,000	講師旅費 東京～杉本町 2人 @29,820円×2 横浜～杉本町 1人 @29,640円 講座運営委員出務者交通費 6人 60,000円
	30,000	
	60,000	
	150,000	
講 師 等 謝 礼 費 280,000	280,000	講師謝礼 @20,000円×14人
	280,000	
講 師 等 食 事 費 140,000	140,000	講座終了後、講師・担当教授・担当委員夕食代 @10,000×14回分
	140,000	
雑 費 8,838	8,838	
	8,838	
合 計	600,838	

平成30年度 商経講座（産業政策特講1）

平成17年に経友会講座を始めて14年目、商友会と共同で開講して5年目になります。先輩諸氏のそれぞれの分野における活動状況をはじめ経験談や人生観、また学生時代における取り組みについてのお話は、聴講する学生たちが自身の進路を考える際の貴重な参考となる役割を果たしています。

商経講座 講義日程とテーマ（2018年度）

担当教員 経済学研究科 松本 淳教授（敬称略）

月 日	講師名	卒業年	学 部	所属／役職	テーマ
10月4日	中瀬 哲史	1995（平7）	院営（博）	大阪市立大学 大学院経営学研究科教授	大阪市立大学の歴史的経緯と大阪との関係
10月11日	戸田 博子	1989（平1）	経	読売新聞大阪本社 広報宣伝部長	時代の先を読む～新聞報道の現場から～
10月18日	堀野 直求 （ホリノ ノブヒデ）	1994（平6） 2003（平15）	院営（博）	大阪NPOセンター 事務局長	NPOを支援しながら社会を変える仕事とは
10月25日	ソ 徐 （ソンドル 龍達）	1957（昭32）	商	桃山学院大学 名誉教授	日本の国際化へのわが三段跳び人生 ～差別克服がもたらした韓国勲1等受章の社会的意義～
11月8日	木下 陽介 堀 智弘	2005（平17） 2008（平20）	経 法	税理士法人セルボ・クレール代表社員 税理士 堀総合法律事務所 弁護士	～自立した社会人になるために～ 専門家から見たビジネス社会 （若手2名での対談形式（男2名））
11月15日	政岡 久泰	1973（昭48）	法	元三和銀行 元エクセディ 取締役専務執行役員	「エクセディのチャレンジ」 ～グローバル化とIoTへの対応～
11月22日	小谷 美樹	1988（昭63）	生科・住	積水ハウス CSR推進室部長	積水ハウスのESG経営
11月29日	ニシ ヒロキ （西 啓介）	1983（昭58）	商	元日本生命 専務執行役員 ニッセイアセットマネジメント 社長	日本生命の海外事業戦略について
12月6日	大山 真弘 福本 拓磨 田中 美帆	2007（平19） 2010（平22） 2011（平23）	経 院工 商	ブルデンシャル生命 課長 FURUEL 代表取締役 ベビーフェイス 取締役	～自立した社会人になるために～ 大企業で見つけた私の仕事観 （若手3名のディスカッション形式）
12月13日	林 正俊	1978（昭53）	商	元住友商事 執行役員 日本ケーブルテレビ連盟 専務理事	地域密着のケーブルテレビ
12月20日	湯崎 一子	1990（平2）	法	BNPパリバ証券 アセットマネージャー営業部長	キャリアデザインの前提とリスク
1月10日	池永 寛明	1982（昭57）	経	大阪ガス エネルギー文化研究所 所長	エネルギー革命 ～暮らしとビジネス、まちとともにエネルギービジネスが取り組んできたこと、これからどうなるのか？～
1月17日	辻 政至 植田 麻友 天沼 紘一 黒石 由佳	2004（平16） 2011（平23） 2012（平24） 2012（平24）	経 法 工・建築 経	公認会計士、税理士、社会保険労務士 おおさか法律事務所 司法書士 不二設計 設計士 ヤマゼンクリエイティブ 退職	～自立した社会人になるために～ 卒業7・8年後の仕事観 （1名ファシリテーターを配置し若手3名でのシンポジウムのような形式）
1月24日	井上ゆみ子	1992（平4）	理・物理	奈良県生活・産業技術研究部指導研究員	地方行政における技術職の役割

平成30年春 経済学部卒業生就職状況

本年5月文科省・厚労省が今春卒業の大学生就職状況調査を公表した。それによると今春の学部卒業生の就職率は前年同期を0.4ポイント上回る98.0%で、過去最低だった2011年（91.0%）以降、7年連続で上昇し、男女別では女子（98.6%）が男子（97.5%）を6年連続で上回った。また、卒業者に占める就職希望者の割合は、私立が1.8ポイント増の86.1%だったのに対して国公立は53.7%で1.6ポイント減だった。文科省では「国公立はもともと大学院への進学率が高い」としたうえで、「景気回復によって、専門性をさらに磨いてから就職しても遅くないと考える学生が増えた可能性もある」としている。〔調査対象：国公立大学24校、私立大学38校、短大20校、高専10校、専修20校の計112校で、大学～高専までの5,690人、専修560人を対象に行われた。〕

この2～3年の就活状況は売り手市場が続いていて、新卒者にはありがたいことだが昨今の世界経済や政治情勢から見ると今の好況局面が何かのきっかけでいつ覆っても不思議ではない不安を抱えていると言える。

平成30年春 経済学部卒業生の就職先一覧

(順不同、単位：人)

(株)みずほフィナンシャルグループ	5	テルモ(株)	1
(株)りそなホールディングス東京本社	4	トヨタ自動車(株)	1
(株)三井住友銀行	4	ニチコン(株)	1
住友生命保険相互会社	3	パナソニックホームズ(株)	1
奈良県庁	3	ミニストップ(株)	1
SMC(株)	2	ヤマハ発動機(株)	1
(株)IDOM	2	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	1
(株)ジェイテクト	2	一般財団法人 阪大微生物病研究会	1
(株)三菱UFJ銀行	2	宇部興産(株)	1
(株)南都銀行	2	岡山県庁	1
厚生労働省 和歌山労働局	2	加古川市役所	1
大阪市役所	2	学校法人関西大倉学園	1
大同生命保険(株)	2	(株)AKS	1
日本生命保険相互会社	2	(株)ANA Cargo	1
ANA関西空港(株)	1	(株)DYM	1
NYKバルク・プロジェクト貨物輸送(株)	1	(株)LIXIL	1
SCSK(株)	1	(株)MDI	1
SGホールディングスグループ	1	(株)アクティオ	1
TOTO(株)	1	(株)アスコット	1
UTテクノロジー(株)	1	(株)イシダ	1
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	1	(株)ウィル	1
アフラック生命保険(株)	1	(株)ウィルウェイ	1
アマゾンジャパン合同会社	1	(株)エンバリューション	1
アルインコ(株)	1	(株)オービック	1
ウィツ(株)	1	(株)カネカ	1
エース工機(株)	1	(株)キャリアデザインセンター	1
オリックス(株)	1	(株)キリン堂（キリン堂ホールディングス）	1
カナフレックスコーポレーション(株)	1	(株)ケイ・オプティコム	1
キヤノン(株)	1	(株)システムコーディネイト	1
グルーヴ・ギア(株)	1	(株)ジュピターテレコム	1
コニシ(株)	1	(株)スパイスボックス	1
スポーツクラブ(株)	1	(株)ツムラ	1
ダイキン工業(株)	1	(株)デンロコーポレーション	1
ダイレクト出版(株)	1	(株)ネオキャリア	1

(株)ネクストイノベーション	1	住友商事(株)	1
(株)ノリタケカンパニーリミテド	1	住友電気工業(株)	1
(株)プラスアルファ・コンサルティング	1	住友電設(株)	1
(株)ベーシック	1	新晃工業(株)	1
(株)マイナビ	1	神姫バス(株)	1
(株)ミキハウス	1	青森放送(株)	1
(株)ヨシタケ	1	前田建設工業(株)	1
(株)リクルートキャリア	1	全国労働者共済	1
(株)伊予銀行	1	生活協同組合連合会（全労済）	
(株)井田幸	1	損害保険ジャパン日本興亜(株)	1
(株)関西アーバン銀行	1	大黒天物産(株)	1
(株)関西東通	1	大阪家庭裁判所	1
(株)京都銀行	1	大阪国税局	1
(株)近畿大阪銀行	1	大阪市高速電気軌道(株)	1
(株)山善	1	大阪府庁	1
(株)小糸製作所	1	大塚製薬(株)	1
(株)成学社	1	大日精化工業(株)	1
(株)大同工業所	1	大和信用金庫	1
(株)第一学習社	1	第一生命保険(株)	1
(株)第一興商	1	椿本興業(株)	1
(株)池田泉州銀行	1	田淵電機(株)	1
(株)中国銀行	1	島津エンジニアリング(株)	1
(株)日本アクセス	1	東京海上日動火災保険(株)	1
(株)日立製作所	1	東京都庁	1
(株)福岡銀行	1	国立病院機構 大阪医療センター	1
(株)片山化学工業研究所	1	凸版印刷(株)	1
間口グループ	1	南海電気鉄道(株)	1
関西電力(株)	1	日活(株)	1
関電不動産開発(株)	1	日総工産(株)	1
岩谷産業(株)	1	日本ペイントホールディングス(株)	1
近畿産業信用組合	1	日本出版販売(株)	1
近畿労働金庫	1	日本情報産業(株)	1
古野電気(株)	1	日本精工(株)	1
厚生労働省 近畿厚生局	1	日本精線(株)	1
厚生労働省 大阪労働局	1	日本電気(株)（NEC）	1
香川県庁	1	日本毛織(株)	1
阪急不動産(株)	1	日本郵便(株)	1
堺市役所	1	八頭町役場	1
三井住友海上火災保険(株)	1	美咲町	1
三井住友信託銀行(株)	1	兵庫県庁	1
三井生命保険(株)	1	味の素AGF(株)	1
三井不動産リアルティ(株)	1	有限責任あずさ監査法人	1
三機工業(株)	1	琉球朝日放送(株)	1
三菱UFJニコス(株)	1	合 計	183
三菱倉庫(株)	1		
三菱電機(株)	1		
滋賀県庁	1		
鹿島建設(株)	1		
住友ゴム工業(株)	1		
住友商事マシネックス(株)	1		

経済学部創立70周年 記念事業募金のお願い

昨年の総会で70周年記念事業を開催することを決定し、記念事業を実施することと合わせて今後も経友会活動を継続していくために募金をお願いしましたところ、多くの方から多額の募金をいただきました。ご賛同とご協力くださいました方々に心から感謝申し上げます。

本年4月の常任幹事会で、具体的な事業計画を検討するために記念事業委員会を設置して委員を選任し、経済学部の先生方の参画も得て、現在は学部創立70周年にあたる来年10月に記念事業を実施することを目指して具体案を練っています。今秋には具体的な内容を策定して実施に向けた取り組みを進める予定です。

経友会はこれまで経済学部と学生たちのために経友会講座（現 商経講座）の提供をはじめいろいろな支援事業を行ってきました。今後も私たちは経済学部と後輩学生たちのためにできる限りの支援、協力をしていきたいと考えています。このため一人でも多くの方々のご賛同を得て事業を継続していきたいと願っています。そしてこの募金は今年度一杯続けますので皆様のご賛同とご協力のほどよろしくお願いいたします。募金は1口1万円をお願いいたします。

経済学部 70 周年 記念事業募金状況

募 金 者 数	132 人
募 金 額	2,605,070 円

（平成 30 年 8 月 15 日現在）

経済学部創立70周年記念事業募金者一覧

平成30年 8月15日現在（敬称略）

卒業年	氏 名	卒業年	氏 名	卒業年	氏 名	卒業年	氏 名	卒業年	氏 名
H 1	名田 久幸	S32	高橋 孝三	S35	古家 章	S39	加藤 紘一	S45	宮川 庄一
H 7	竹内淳一郎	S32	西 幹雄	S35	南 直昌	S40	井奥 博之	S46	塚本喜左衛門
H 9	高田 雄司	S32	星出 政夫	S36	野口征二郎	S40	清水 俊明	S46	松本 有一
H 9	大美佐知子	S32	石原 靖造	S36	南方 弘	S40	蔵岡 一彦	S47	井上 昭三
H13	多田 敏明	S32	佐武 博司	S36	小野 重雄	S40	島 征一郎	S47	松尾 正典
H13	松尾元治郎	S32	今川 明	S36	中井 敏男	S40	宮崎 憲司	S47	前田 克己
H23	古家 保男	S32	矢野 高安	S36	堤 憲幹	S40	山田 義信	S47	川上 實
S28	上羽 宏	S33	植村 保司	S36	谷川 宗隆	S40	山下 秀夫	S47	中村 忠夫
S28	片山 政道	S33	大谷 整一	S36	丹羽登志雄	S40	甘田 外成	S48	篠原 正人
S28	建部 好治	S33	柏木 敏治	S37	寺田 正博	S41	齋藤晃一郎	S49	奥野 俊治
S28	中家 隆造	S33	上村 正昭	S37	柳田 健	S41	関 克彦	S49	瀧川 実
S28	若林 健介	S33	三上 隆	S37	宮澤 博臣	S41	福島 忠信	S50	松浦 康裕
S29	石井 寛治	S34	峯 博	S37	八代田次郎	S42	出原 康雄	S50	有田 正文
S29	河野 延雄	S34	森川 継雄	S37	工藤 治夫	S42	福島 由堯	S51	深山 一清
S29	山口 暢一	S34	上田 武雄	S37	坂 弘志	S43	奥田 重隆	S51	宮本 岩男
S29	河崎 清	S34	西尾 雅一	S37	菅野 吉昭	S43	天野 元良	S51	浦塚 健策
S29	市口精一郎	S34	小川 宏	S37	陸野 桂	S43	福家 学	S52	神藤 敏文
S30	横山 修一	S34	濱口亀三郎	S37	野崎 充亮	S43	広岡 尚	S52	上田 俊次
S30	木村 陽吉	S34	増尾 穰	S37	南部 昌弘	S43	木野比佐司	S54	二口 隆洋
S30	皆川 宏子	S34	高田 直彦	S37	藤田 吉之	S44	小寺 輝久	S54	羽鳥 敬彦
S30	龍口 篤夫	S34	齋藤 三朗	S37	村井 節男	S44	加藤 浩史	S54	植田 健三
S30	宇野 實	S35	林 昌夫	S37	佐藤 博之	S44	寺田 栄造	S54	炭山 明弘
S31	古賀 仁	S35	板垣 望	S38	上村 恭一	S44	牧野 忠廣	S54	市川 正純
S31	石川 健夫	S35	吉川 八郎	S38	山幡 一雄	S44	森定 学	S57	大野 卓哉
S31	二宮 勉夫	S35	千草 晴夫	S38	中野 眞雅	S44	古川 弘成		
S31	堀内 巖	S35	吉川 正男	S38	原田 哲郎	S44	参鍋 洋三		
S31	宇佐美秀昭	S35	殿護 隆司	S38	奥村 修二	S44	溝川 茂久	合 計	132人

短信

経済学部インターゼミに参加して

7月14日経済学部は第9回目を数える平成30年度のインターゼミを実施しました。インターゼミは経済学部内のゼミがそれぞれの研究についての成果を発表しあい、発表ゼミ以外の学生との間で質疑討論を行うものです。

本年度は経済学部の19ゼミが参加して五つの会場に分かれ、午後1時から4時まで開催されました。経友会はこのインターゼミにアドバイザー・評価者として参加協力して欲しいとの要請を受け、塚本会長、有田副会長、事務局長（出原）の3人が三つの会場に分かれて出席しました。

研究テーマを見ますと極めて多様ですが、現実的・実践的な研究課題となっていてゼミの意気込みが感じ取られ、また研究成果も実践的な対応・施策が多く語られましたが、もう一つ突っ込んだ討論には至らなかった感があります。学生たちの研究報告に対して、私たちは年長で先輩の立場から、どうしても彼らにより良い研究を行って欲しいとの気持ちを持つものですから、辛い評価に傾き加減となってしまいがちとなりました。これも善意から出た愛情の表れとしてお許しをいただきたいと思います。

今後も経済学部からこのような要請があると思いますが、そのときには関心のある方にはご参加をお願いしたいと思います。

2018年度経済学部インターゼミ 参加ゼミと報告テーマ一覧

教 室	報告順	ゼ ミ	人 数	テ ー マ
121	1	ウェザーズ	5	マタハラ
	2	北原	4	メルカリ
	3	浦西	5	企業と利用者の視点から見る JR 民営化
123	1	中嶋	3	日本の貧困・格差
	2	中島	2	電力市場の分析
	3	滋野	9	大阪万博と IR 型カジノ
	4	北原	2	お菓子の内容量変更
124	1	中島	4	原発事故による福島県の風評被害
	2	北原	3	キャッシュレス化
	3	小川	4	新駅設置の経済効果
	4	浦西	4	企業と利用者の視点から見るバス事業
125	1	ウェザーズ	4	同一労働同一賃金
	2	北原	3	DeNA ベイスターズ
	3	中嶋	4	金融緩和と日本経済
	4	小川	4	サッカー・ワールドカップ
125	1	小川	4	新幹線開通に伴うストロー効果
	2	中嶋	4	AI と少子高齢化
	3	北原	2	コンビニ
	4	中島	4	原発地域のこれから